

NEWS RELEASE

2018年9月13日
日本板硝子株式会社

防曇機能付ガラスがトヨタ 新型シエンタ（Sienta）に採用

今月から発売の新型シエンタ(Sienta)のトヨタセーフティセンス設定車両に、日本板硝子株式会社（東京都港区、代表執行役社長兼 CEO 森 重樹）の防曇機能付ガラスが採用されました。当社が長年培ってきた有機無機ハイブリッドコーティング技術により開発された防曇膜をフロントガラスに付与することで、曇りを防止します。

トヨタ自動車株式会社は、事故が起こりやすいシーンをカバーする先進の予防安全パッケージ、トヨタセーフティセンスを展開しています。衝突の回避や被害の軽減をサポートし、事故を未然に防ぐサポート機能の一つとして歩行者、車両等を認識するカメラが、フロントガラスに取付けられています。冬季、梅雨等の曇り易い環境下においてもカメラ前のガラスが曇りにくくすることで、トヨタセーフティセンスに貢献しています。



（写真提供：トヨタ自動車株式会社）

日本板硝子株式会社（NSGグループ）は、建築用・自動車用ガラスおよび高機能ガラス製品の分野における主要メーカーです。1918年に創業し、グループ従業員数は約27,000人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100カ国以上で製品の販売を行っています。
<http://www.nsg.co.jp>